

日本が自ら日本を世界に紹介した
最初の本にみる
日本の美意識について

講師◎ エミリア シャロンドン

日文研 外国人研究員

コメンテーター◎ 稲賀 繁美
日文研 教授

司会◎ 佐野 真由子
日文研 准教授

2014年10月14日(火)

午後2時～4時(開場 午後1時40分)

ハートピア京都3階 大会議室

入場無料(先着180名・申し込み不要)

主催 | 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国際日本文化研究センター(日文研)

International Research Center for Japanese Studies

第282回 日文研フォーラム

日本が自ら日本を世界に紹介した 最初の本にみる日本の美意識について

On Japanese Aesthetics as Seen in the First Books in which Japan Introduced Itself to the World

1897年から1900年にかけて、日本政府は二冊の本を通じて日本を世界に紹介しました。一方はフランス語、もう一方は英語による出版で、いずれの計画にも岡倉天心がかかわっています。フランス語の本、*Histoire de l'art du Japon* (日本美術史) は、当初、岡倉が編集にあたることになっていましたが、個人的な事情ですぐにその任を外され、別の人物にかかりました。英語の *Japan, described and illustrated by the Japanese* (日本人によって書かれ、描かれた日本) には、岡倉がサインした十枚の絵画紹介が含まれています。

このたびの講演では、両書の編集者や岡倉が、日本の美意識をどのようなものとして紹介しようとしたのか、さらには、日本は明治時代に、どのように外国人に紹介されたのか、考察してみたいと思います。

エミリア シャロンドン Emilia CHALANDON 日文研 外国人研究員

ブルガリア、ソフィア生まれ。ロシア・サンクトペテルブルグ国立大学(当時のレニングラード国立大学) 東洋学部にて日本史、日本語を学び、1990年7月同学大学院にて修士課程修了。その後、奈良女子大学大学院にて日本神話と比較神話を専攻し、1998年3月同学大学院にて博士課程修了(文学博士)。1998年4月より国際日本文化研究センター講師(中核的研究機関研究員)を経て、2000年4月四国大学文学部日本文学科講師に就任。上代文学、比較神話、比較文化などを教える。2004年にはパリに移住し、2007年9月よりトゥールーズ・ル・ミライユ大学日本語学科講師。2011年、再び来日し、2014年1月より現職。専門分野は、比較文化。

主要著作に、*Des pierres et des fleurs* (L' Harmattan, 2011) がある。

稲賀 繁美 INAGA Shigemi 日文研 教授

1979年3月東京大学教養学部教養学科卒業。1981年3月東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専攻修士課程修了。1988年3月東京大学大学院人文科学研究科比較文学比較文化専攻博士課程単位取得退学後、1988年5月パリ第七大学(新課程)博士課程修了。1988年4月より東京大学教養学部助手、1990年4月より三重大学人文学部助教授、1997年4月より国際日本文化研究センター助教授を経て、2004年4月より現職。

専門分野は、比較文学比較文化、文化交流史。主要著作に、『*絵画の臨界：近代東アジア美術史の極限と命運*』(名古屋大学出版会、2014年)、『*絵画の東方 オリエンタリズムからジャポニスムへ*』(名古屋大学出版会、1999年)、『*絵画の黄昏：エドゥアール・マネ没後の闘争*』(名古屋大学出版会、1997年) などがある。

日文研フォーラムとは

国際日本文化研究センター(日文研)が、来日中の外国人研究者による日本研究の成果を市民の皆さまにご紹介し、共有していただくことを主な目的とする催しです。

1987年の設立以来、月1回のペースで、京都市中心部の会場で継続的に開催しています。

お問い合わせ先

国際日本文化研究センター 研究協力課
〒610-1192 京都市西京区御陵大枝山町3-2
TEL: 075-335-2078
<http://www.nichibun.ac.jp/ja/>



京都市立総合社会福祉会館 ハートピア京都

【アクセス】

- ・京都市営地下鉄丸太町線「丸太町」駅下車5番出口(地下鉄連絡通路にて直結)
- ・京都市バス、京都バス、JRバス「丸太町」バス停下車